

タイル施工

下地の準備

施工を良好に行う為には、適切な準備が欠かせません。床面はフラットで清潔でひび割れがなく、油脂などもなく十分に乾燥している必要があります。凹凸や不陸などがあると、使用しているうちにその型や形状が表面に影響を及ぼします。

タイルの保管と準備

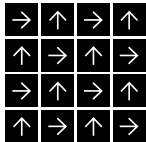
タイルの箱は水平に保管し、最大 12 ケースまでの積載にとどめます。品名とロット番号を点検し、間違いないことを確認してください。違うロット番号を混在させると色差などが生じることがあります。箱から出して保管するときには、水平な場所で表面を上にしてずれないように積みあげてください。高さは 12 ケース以下としてください。

室内環境としては、床面温度は少なくとも 15℃、室内温度は 18℃～25℃の間で湿度は 75%以下を推奨します。また、施工作业前にタイルを少なくとも 48 時間放置して室温に適合させます。

施工

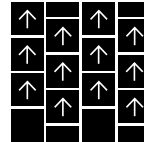
1. 施工パターン

■市松敷き



DOLOMITE, LAVA, TOPAZ, FLINT, GRITSTONE, ARID, RIFT, MOONROCK ORANGE, MOONLESS NIGHT ORANGE, MOONLESS NIGHT BLUE, MOONLESS NIGHT GREEN, FLINT BLUEは市松敷きを推奨します。

■順目敷きまたはレンガ敷き



MOONROCK, COFFEE BEAN, JUNO, MOONLESS NIGHT, ECLIPSE, NEBULA, ORION, PLANET, CHROMITE GREY, MAGNETITE GREY, MORION BROWN, EQUINOX, PULSAR, AURORA, TITAN, ATMOSPHERE, ORBITAL, ZODIAC, ANDROMEDA, ZENITH, SUPERNOVA, QUASAR, NEPTUNE, ASTEROID, FIREBALL, CORONA, BLACK HOLEは、順目またはレンガ敷きを推奨します。市松施工も可能です。

2. 接着剤の塗布

床面が清潔で十分乾燥していることを確認し、接着剤を塗布します。接着剤はシーザーボンドをお使いください。塗布量は 50～80g/m²を目安に楕円コテにて塗布してください。オープンタイムをとり、透明になってから施工を開始してください。耐水施工の場合は、スミテックセメント S300 をお使いください。

3. 敷き詰め

- ①基準線を引きます。 図1
- ②接着剤を塗布しオープンタイムを取って、接着剤が完全に透明になってから基準線に沿って施工を開始します。 図2
- ③順番にタイルを貼り伸ばしていきます。 図3
- ④周囲に合わせてカットしたタイルを敷き込みます。 図4
 - ・最後に敷き詰めたタイル(1)の上に、カットするタイル(2)を置きます。
 - ・タイル(3)を壁に押し付けます。
 - ・タイル(2)をタイル(3)に沿ってカットします。
 - ・カットしてタイル(2)を敷き込みます。

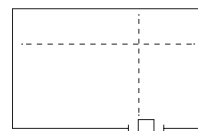


図1

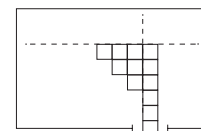


図2

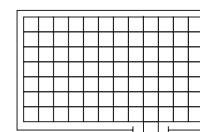


図3

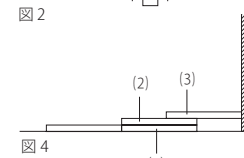


図4

注意点

- ・四辺に白いグラスファイバーが見えることがあります。施工前に湿った布で拭い、取り除いてください。
- ・ゴム素材（すべり止めシート、制震材やタイヤなど）は、長期間接触した場合、製品の色に影響する恐れがあります。そのため、ゴム素材と接触する場合には保護板などをご使用ください。
- ・椅子などのキャスターは、ゴム製ではなくポリアミド製の硬いキャスターをお勧めします。
- ・屋外での使用は、土砂などで塩ビ繊維を傷つける場合がありますのでお勧めしません。
- ・外部からの土や砂などの持ち込みは床材表面を傷つけて摩耗を早めるなどの原因につながります。出入口には泥除けマットのご使用をお勧めします。
- ・ハイヒールや家具などの局部荷重を受けると跡が残る場合があります。
- ・モルタル床の乾燥が十分ではない（水分率 8%以上が目安）場合、床からのアルカリ水分により塩ビ樹脂に含まれる可塑剤が加水分解し異臭（アルコール臭）が発生する場合があります。
- ・表面に凹凸がある OA フロア下地では、時間の経過とともに表面に凹凸が影響してくる場合があります。